

議会だより



音楽での授業の一コマ
リコーダーの練習をグループ
ごとに工夫して行っています。

中学校の日常 No.3 「金山中学校」

秋は、3年生にとっては自分の将来の方向性を見据えて進路選択をする時期になります。自分の目標に向かって真剣に考えていました。また、2年生は今年度より職業体験学習（プロジェクトK）に取り組み、各事業所や職人さんの素晴らしい「技」に触れることができました。これを機会に郷土のすばらしさを見つめ直してほしいものです。

1年生も役場の方々の協力で「金山学」での研究テーマづくりに頑張りました。



10/6
クラスマッチでの長縄跳び
見てください息の合った団結力！
さすが優勝した3年B組です。

新年のあいさつ	2P
全員協議会	3P
12月定例会	4～5P
5名が町政を問う【一般質問】	6～11P (中村、須藤、高橋(芳)、早坂、沼澤 各議員)
常任委員会	12P
議会活性化報告	13～15P
10月臨時会	16P
中央要望・研修	17P
町民の声・ギインコラム	18P



11/9 修学旅行での企業訪問

上台出身の高橋和雄さんが会長を務める
広告宣伝(株)での班別研修。東京金山会
の皆さんには大変お世話になりました。

12月定例議会

No.112

【平成30年2月2日発行】

山形県金山町議会

検索



新年のごあいさつ 「誤りなき道を町民とともに」



新年あけましておめでとうございます。
早く厳しい冬の到来でご苦労をされていることと思いますが、ご家族の皆様とともに、希望を胸に新春を迎えられたものとお慶び申し上げます。

昨年の漢字は「北」。特に北朝鮮による核実験の強行やほぼ全世界を射程に収めた弾道ミサイルの発射を繰り返すなど、緊迫した情勢が続いております。
また、我が町でも米の作柄が報道以上に厳しく、更にはいわゆる「米の三十年問題」で多くの農家に不安が広がった年ではなかったかと思ひます。

町議会としましては、四分野十七項目からなる町への「政策提言」の未解決事項の検証を進める中、新たな観光につなげようと昨年十一月には、台湾の高雄市を訪ねインバウンドを要請したところ、好感触を得てまいりました。

また、農協の新役員や新制度での農業委員、農地利用最適化推進委員、更には学校長等、女性や町区公連の皆様との語る会、加えまして、議会報告会を町内七会場で開催するなど、多くの皆様の声を直接伺ってまいりました。

今後は、できるだけ目に見える形で反映できるよう更に精進してまいり所存でございますので、引き続きご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成という時代も残り一年余りとなることから、「戌年」の今年は特に意義深い年となるものと思われませんが、広く注目を集めておりますガン探知犬の力も借りながら、皆様の「健康長寿」とともに、我が町の進むべき道も誤りなきよう皆様と力を合わせ、活発な議論を推し進めてまいりたいと思ひます。

結びに、町民ひとり一人が元気で明るく暮らし、地域や組織、更には金山町全体が未来に向けて輝ける一年になりますよう心からご祈念申し上げます。
平成三十年一月吉日

金山町議会議長 柴田 清正



後列左より 高橋浩樹議員 中村忠行議員 沼澤道也議員 早坂憲明議員 高橋芳夫議員
前列左より 栗田保則議員 寒河江宏一副議長 柴田清正議長 矢口政一議員 須藤典夫議員

議会全員協議会

「定住促進住宅」の基本計画公表

（株）金山木材跡地に計画している「定住促進住宅」の基本計画について、12月町議会定例会会期中の8日に、議会全員協議会を開催し、町長並びに設計者である（株）岸・林設計同人一級建築士事務所から次のような基本方針の説明を受け、柴田議長を座長として協議を行った。特に、議会報告会等においても関心が高かったことから、詳しく報告する。

■基本方針

○変化のある場の形成
・単一のシステムとし

ない
・町の一拠点としての存在感

○要求ボリュームの変化に柔軟に対応する配置計画

・ボリュームの変化によつて配置計画の基本がくずれないこと
・50㎡～110㎡×35～45戸

○孤立、束縛のない緩やかな共同体形成

・若者の定住を優先するが、高齢者も適宜受け入れた方が望ましい
・シェアハウスではなく、コレクティブ・ハウス

・共有機能の充実：ラウンジ、暖炉、共同キッチン、サウナ、

○町の構造へ波及しうる提案

・金山住宅を提唱しつつ、若者にも訴求力のある内部空間
・1階RC造、上部木造の混構造、切妻屋根

・車庫の共有・車庫入口の集約化

こうした基本方針のもと、一帯は異なる性格を持つ3つのゾーンで形成され、単身者向けワンルーム、家族向け2階建て住宅、単身者／夫婦向け住戸（一部メゾネット）の住戸群が形成される。なお、

工房（DIY工具など）、倉庫

○パッシブな雪対策

・人的、物的エネルギーを浪費しない
・落雪屋根、雁木・こみせ、融雪池、余裕のある雪だまり

・車庫の共有・車庫入口の集約化

アーチ型の連続する住戸部分の半径は70mとなり、36角形で構成される。具体的なイメージは、写真は、写真を参照願いたい。

議員からは、特に雪問題は想像以上であり、より現実的な対策を講じて欲しいとの声があり、景観に配慮しつつも屋根の形状のあり方も含めて、



議会全員協議会にて（12/8）

更に検討を加えて計画を精査してもらうこととを確認して、協議を終えている。

用語解説

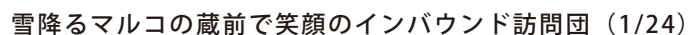
【コレクティブハウス】独立した居住スペースの他に居間などの共用スペースを備えた家
【パッシブ】積極的な働きかけを要しない
【雁木・こみせ】一部地域では「こみせ」とも呼ばれるアーケードに似た雪よけの屋根
【RC造】鉄筋コンクリート造
【メゾネット】2層（複層）を立体的に使用することにより一戸建てのように利用できる住まい



白い部分が定住促進住宅のイメージ

インバウンド 動き出す

12月定例会が12月7日から11日までの5日間開催され、専決処分の承認や補正予算、特別職、一般職の給与条例の一部改正を含む16議案が審議され、全員賛成で可決した。一般会計予算は1億1千694万円を追加し、45億671万円となった。旧保育園改修工事実施設計委託料、林業成長産業化地域創出モデル事業増額、インバウンド取り組みなどの補正内容となっている。下表の議案一覧と質疑要旨を参照していただきたい。



の移転後の活用は。

住宅部分がつながつてい

町長 30年度から副町長

レーシア旅行会社の来町費用等を町観光協会を通して負担する。

高橋芳夫議員 林業成長産業での費用明細はどんなことか。

金山町議会だより 第112号 4



中村 忠行 議員

中央公民館の改築構想は

【回答】 地場産木材を活用した施設に

改築予定の中央公民館の基本設計は

中村忠行議員 現在検討中の基本設計は

町長 改築される予定の中央公民館については、2年間先送したのは、財政健全化指標を悪化させないために、あえて貸工場の方を先行した。基本設計は来年度入る。

佐藤教学課長 平成30年度に基本設計、31年度に実施設計、32年度着工、33年度完成の予定。

平成25年に、区長公民館長連絡協議会会長を委員長とした各区長や芸術文化団体、町づ

くり団体等の代表から構成された「中央公民館改築整備構想検討委員会」を設置し、建設における基本的な内容を検討いただき、平成26年3月に答申が出された。

その後、「中央公民館改築整備基本計画画内検討委員会」を設置し、「中央公民館改築整備構想検討委員会」の報告に基づき検討を行っている。

その内容は、1、「維持管理コストも考え、後世の負担とならない施設」2、「公民館機能にこだわらず、コンパクトで複合的な性格を持つ施設」3、「多世代、親子が利用でき、交流できる施設」4、「雪国を意識し、木材をふんだんに使った木造等の施設」5、「他の公的施設の有効活用」6、「建設場所は現在地及びその周辺地」等である。

金山杉を使った建築



改築計画が進む中央公民館

現在の防災倉庫は、中央公民館改築に合わせ解体する方向で検討しており、防災倉庫に保管している各種物品等は、現在、町が所有する建物の空きスペースを活用し、保管する方向で考えているが、補えない部分は新中央公民館の基礎部分や新たな保管施設を併せて考えたい。

「日本の木材活用リレーみんなで作る選手村ビレッジプラザ」への協力については、東京オリンピック・パラリンピックの選手村等の建設に各自自治体から提供された木材を、終了後は伝統遺産を形成した材料として各提供

自治体に返還されるもので、東京オリンピック・パラリンピックの伝統遺産として可能な限り内装材等へ使用したい。

関連質問

- ・現在の公民館機能を維持できるか
- ・冬期間の雪対策や、災害時の対応、バリアフリー化は
- ・街の駅の「駐車場」と「トイレ」は24時間利用可能か
- ・小中学生の待合場所確保は
- ・図書室、文化遺産展示や資料展示は
- ・街の駅の運営主体は、既存の産直施設や商店への影響は。
- ・設計・建築の発注時期は
- ・工事期間の代替施設は
- ・パブリックコメントを募集しては
- ・プロポーザル方式での建設の考えは
- ・国や県からの支援策は

5名の議員が町政を問う



【一般質問とは】

議員が最高責任者の所信を問うという立場で行うべきとされていることから、単に事務的なもの、計数を問うような質問は避けるべきとされています。

12月定例会の初日(12/7)に次の事項について一般質問が行われました。

◆ 中村 忠行 議員……P7

①中央公民館改築について

◆ 須藤 典夫 議員……P8

①金山町政策顧問について

②最上地区広域連合について

◆ 高橋 芳夫 議員……P9

①稲作農家の「30年問題」について

②要介護者を抱える家族の経済的負担の格差について

◆ 早坂 憲明 議員……P10

①がん特異的揮発性バイオマーカー同定研究委託事業について

◆ 沼澤 道也 議員……P11

①地方創生の今、これから



※質問の順序は通告順となります。



須藤 典夫 議員

活かせる政策提言は

いった内容のお話をいただいた。

須藤典夫議員 政策顧問の3名の先生に専門分野の話を、町民の方々と聴くことのできる講演会を開催してきた。講演には町づくりに活かされる提案が多くあったと思われるが、紹介していただきたい。

川崎政策財政監 故岸宏一先生からは、育英生を対象に「この頃思うこと」と題し、「自身が設立した育英会への思い入れ。人は変わるものだが家族愛や郷土愛は変わらないものであれ。嘘はダメという発想から公文書公開条例を制定した。」と



多くの町民が聴いた講演会（11/27）

大石政策顧問からは、これまでに3回のご講演をいただいたが、主に、元総務事務次官として携わって「地方行

必要。」といった内容のお話をいただいた。皆川政策顧問から3回のご指導をいただいた。「6次産業で地

域に根差した付加価値の高い産業創出を。日本酒・ワイン或いは製材・運搬・販売に関する産業が今後注目されるなど」、成人式では「多くの本を読み良い本に出合っしてほしい。ぜひ金山で暮らしてほしい。景気が悪いことをどう考えるか。」といった内容のお話や問いかけがあった。

須藤議員 提言として具現化できることはあるのか。

町長 政策顧問の話の中からすぐに具体的に何ができるかというのは、はっきり言えないが、見つけていくべきだと思っている。

財政の課題」にポイントを絞り、「東京一極集中に歯止めをかけるために地方はよく考えるべきで、部市に住む

金山町出身者にメルで町広報誌を定期的に送るべきである。更には、沖縄との相互交流をしてい

から、山形県が市町村とともに財政運営の責任主体となり、市町村ごとの国保事業費納付金の決定や安定的な財政運営、効率的な事業運営など中心的な役割を担い、国民健康保険制度の安定化を目指す

化ができてくるものと考えられる。また、検診の受診率を高めて、病気の各疾病の早期発見・早期治療ということ、ひいては保険給付費を抑制したり、保険料の上昇を止めていくと思われる。

政策顧問の提言を活かせ

回答 町づくりに新たな視点を享受

稲作農家の「30年問題」対応は

回答 米需要を安定させ米価も維持



高橋 芳夫 議員

高橋芳夫議員 稲作農家は、2ヶ月半前から平成30年作付けのための種子並びに肥料農薬等を予約している。このことはより安く購入するための手段であり、稲作農家はこのように早くから作付けの段取りしなければならない。新聞、テレビなどのメディアでは、30年から減反はなくなると報道されているが、最近になって農家には、減反をしなければ米価の下落を招くという心配から、今まで通り減反をしようという流れがある。

農家の不安を払拭するため、何らかの方策を講じているのか。また、減反しなければ米価の下落を招く等の回覧周知をもっと早い段階でできなかったのか。

丹産業課長 町には、町と農協、集荷業者等で構成する「地域農業推進協議会」がある。この会の意見を聞きながら生産者ごとの「生産の目安」を示していくことに変わりはなく、2月中旬から3月上旬にかけて開催する座談会等を通じて「生産の目安」に応じた作付けへの協力を促していく。昨年、一昨年、5年ほど前からこの話については話題として上がっており、米の直接支払制度はなくなる一方で転作を奨励することで米の需要を安定的に推移させ、米価も維持していく考え方についても折あるごとに説明してきたつもりだが、機

会を活かして周知すべきとの点は、今後に生かしたい。

要介護者の経済的負担の格差は

高橋議員 高齢化が進展する中、家庭の事情などで介護を要する方の施設利用が増えてきている。そうした中、入所者に係る平均的負担を見ると、みすぎ荘は月額約5万円強だが、その他の施設では月額約8万円強となっている。こうした負担の格差をどう考えているのか。

今まで家族のため働き、町のために働いてきた人が、介護老人ホームを利用した場合、みすぎ荘と他の介護老人ホームを同額にしないと、金山町の住民としては不公平に感じるのではないか。

五十嵐健康福祉課長 制度上、例えば、特別



みすぎ荘納涼会を楽しむ（7/17）

回答 町民参加をより拡大した取り組みを



**地方創生3年目の
評価は**

沼澤道也議員 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」も3年となり一定の評価をすべき時期と考えるが、町、国の現状について伺いたい。

川崎政策財政監 本戦略は平成27年度から5年間の計画で実施され最終的には31年度末の状態で、32年度に評価を行うことになっている。住宅リフォーム事業の増加や貸工場建設による新規雇用者の拡大など成果も見えるものの、人口目標については、自然減や社会減により、早いペースで

地方創生3年目の
評価は

減少が進んでいる状況にある。

国としても、都内への大学新設の抑制や空き家の観光利用、インバウンドの地方支援なども打ち出している。

町としても国への要望要請を強く行うとともに、国の施策の動向を注視し、積極的に取り組んでいきたい。

「金山28人衆」を
見直し、交流人口
の増加を

沼澤議員 国の動向も大事だが、住民の内発的再生、今住んでいる人が主体的に町を創っていくことが必要で、今まで以上に交流人口（今は少し進んだ関係人口）の増加も住民の参加や取り組みの中で進めて行くべきと考えるが、「金山28人衆」の見直しは考えているのか。

丹産業課長 「金山28人衆」は山里の暮らし

毎年、一般会計から診療所に、約2億円ほど繰り出されているが、その財源の一部を活用

して、がんで死なない町づくり、がん撲滅運動を考えても良いのではないか。

子宮頸がん検診対象となる20才まで拡充

がん探知犬検診を40才以下にも

町長 町からの繰り出しは約2億円近いが、町民に理解いただける範囲は、自助努力をおこなった上での金額でなければいけない。

診者838人である。
 同意による検診率は、
 71・14%となっている
 が、当初の計画と現状
 の判断は。

健康福祉課長 12月1

がんで死なない町づくりは、大事なことである。平均寿命と健康寿命の差をなくしていくことが、がんを含め

日現在、1270人に対し、同意による検査者898人、70・7%の検診率となっている。

て病気で命を落とす方が少なくなることにつながる。

当初、1000人を
目指していましたが
現在898人というこ

健康長寿に向けて、町を上げて取組みを強化する条例の制定なども検討している。

とで、結果としては初めての導入でもあり、やむを得ないのではないかと思っている。

当初の計画と

現状の判断は

早坂議員 11月10日現在、検診1172人に対して、同意による検

早期発見・早期治療
ということ、この検
診によって確認され
た方は、治療をおこ
なっている。

ため開催して欲しい。

佐藤教学課長 本事業は、総務省の「地域連携」実践拠点形成モデル実証事業の採択を受けた平成25年度より実施されていて、本年度で終了する。今後は、各大学と町による単独事業となる。

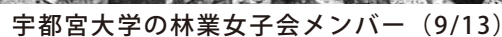
町長 6年後に創設される森林環境税の地方

交付が31年度から、前倒しで始まる見通しであり、林業の町の情報発信はより強化していく必要がある。28人衆や大学環ネットかねやまなどでの取り組みも町民だけでなく、いろいろな方々の力を借りながら進めていく必要がある、更に詰めさせていたきたい。

更に「地域おこし協力隊」などが担ってきており、連携を強化していきたい。

「林業の町」発信に
林業女子サミットを

A black and white photograph of three young women standing outdoors. They are all smiling at the camera. The woman on the left is wearing a dark polo shirt and a light-colored apron. The woman in the center is wearing a dark polo shirt with a small logo on the chest. The woman on the right is wearing a striped shirt. In the background, there is a large pile of cut logs and some trees.



早坂憲明議員

早坂憲明議員 最近
40才前後の若い方がが
んで亡くなっている。
子供の小さい時に親
が亡くなり、親の顔も
わからない人生を送つ
てしまうという不幸な
姿が生まれる。

象となる女性の20才まで拡充をしたい。

町長 子宮がんや乳がんなど、女性の検査は診療所ではできないので、他の医療機関を紹介することになる。

何かあったならいつ

このような事態を防ぐためにも、がん探知犬による検診を40才以下の方にも広げられな
いか。

でも診療所に相談した
だけのように、最大限
の努力をおこなってい
きたい。

がんで死なない
町づくり運動を

町づくり運動を

五十嵐健康福祉課長
当初、この事業をお願いした時に、3年間実施ということで取り組みをはじめた。

早坂議員 がん探知犬
による検診事業研究は、
小さい診療所であるか

今年度を振り返って
検証したところ、例え
ば、子宮頸がん検診対

ら可能であり、大きな病院では、成し得ない事業と考える。



金山町議会だより 第112号 10

今後の成人式、町の考え再び聞く

総務文教常任委員会

問 11月28日の女性と語る会、12月4日の区長と語る会の中で、来年からの成人式について意見が出された。町の考えを再び聞く。

答 成人式は、20才を迎えて決意を新たにする場であり、節目の年にするのが正当と思う。式典である『成人式』よりも、実行委員会の主催である『祝う会』の持ち方が課題となる。

問 『式典のみ』、あるいはノーアルコールで『祝う会』を実施する自治体もあるが、アルコールのない開催の方向で指導していきたい。

答 議会中継について、議場の問題、経費や費用対効果の問題もあり、執行部の意見を聞きたい。

問 最上町の場合、アクセスは主に職員とみられる。そのた

答 成人式は、20才を迎えて決意を新たにする場であり、節目の年にするのが正当と思う。式典である『成人式』よりも、実行委員会の主催である『祝う会』の持ち方が課題となる。

問 成人式は、20才を迎えて決意を新たにする場であり、節目の年にするのが正当と思う。式典である『成人式』よりも、実行委員会の主催である『祝う会』の持ち方が課題となる。



成人式での一コマ

問 返礼品は、町内の物産にこだわらず、過度の競争もなく町の産業振興も含めて30%で対応していきたい。

答 返礼品は、町内の物産にこだわらず、過度の競争もなく町の産業振興も含めて30%で対応していきたい。

問 返礼品は、町内の物産にこだわらず、過度の競争もなく町の産業振興も含めて30%で対応していきたい。

答 返礼品は、町内の物産にこだわらず、過度の競争もなく町の産業振興も含めて30%で対応していきたい。

病児保育の取組みに向け検討を

～産業厚生常任委員会～

問 こども園に通わせ、発熱等で帰宅の場合、職場をすぐに抜けられない。迎えにいくまで園児を見ていただくことができないのか。

答 病児保育の検討は必要と考えるが、現状として静かなところで待機していただいて、親がきたら帰宅する形を取っている。

問 街並みづくり資料館の条例は、営利目的での使用を禁止している。地方創生の今、半日700円程度をもらうより無料にして使わせていただいた方が良いのでは。

答 施設の在り方を含めて今後検討させていただく。スキー場のシーズン券がシニアより高校生の方が高い。もう少し安くても良いのでは。

問 施設の在り方を含めて今後検討させていただく。スキー場のシーズン券がシニアより高校生の方が高い。もう少し安くても良いのでは。

答 施設の在り方を含めて今後検討させていただく。スキー場のシーズン券がシニアより高校生の方が高い。もう少し安くても良いのでは。

問 施設の在り方を含めて今後検討させていただく。スキー場のシーズン券がシニアより高校生の方が高い。もう少し安くても良いのでは。

答 施設の在り方を含めて今後検討させていただく。スキー場のシーズン券がシニアより高校生の方が高い。もう少し安くても良いのでは。

問 施設の在り方を含めて今後検討させていただく。スキー場のシーズン券がシニアより高校生の方が高い。もう少し安くても良いのでは。

答 施設の在り方を含めて今後検討させていただく。スキー場のシーズン券がシニアより高校生の方が高い。もう少し安くても良いのでは。

問 施設の在り方を含めて今後検討させていただく。スキー場のシーズン券がシニアより高校生の方が高い。もう少し安くても良いのでは。

答 施設の在り方を含めて今後検討させていただく。スキー場のシーズン券がシニアより高校生の方が高い。もう少し安くても良いのでは。

問 施設の在り方を含めて今後検討させていただく。スキー場のシーズン券がシニアより高校生の方が高い。もう少し安くても良いのでは。

答 施設の在り方を含めて今後検討させていただく。スキー場のシーズン券がシニアより高校生の方が高い。もう少し安くても良いのでは。



元気に遊ぶ子どもたち

問 町長が落花生に力を入れるというが、担当課の考えは。

答 県内に大きな需要企業があると考えている。山形大学との産学官民の連携となる。30年度は何件か農家の協力を得て実証していく。

問 官民協働除排雪は町なかでしているが、周辺地域で使いたいといった場合、可能なのか。

答 町なかでなくても可能である。県の事業で一ヶ所5万円が上限。場所があれば相談いただきたい。

問 官民協働除排雪は町なかでしているが、周辺地域で使いたいといった場合、可能なのか。

答 町なかでなくても可能である。県の事業で一ヶ所5万円が上限。場所があれば相談いただきたい。

問 官民協働除排雪は町なかでしているが、周辺地域で使いたいといった場合、可能なのか。

答 町なかでなくても可能である。県の事業で一ヶ所5万円が上限。場所があれば相談いただきたい。

問 官民協働除排雪は町なかでしているが、周辺地域で使いたいといった場合、可能なのか。

答 町なかでなくても可能である。県の事業で一ヶ所5万円が上限。場所があれば相談いただきたい。

問 官民協働除排雪は町なかでしているが、周辺地域で使いたいといった場合、可能なのか。

答 町なかでなくても可能である。県の事業で一ヶ所5万円が上限。場所があれば相談いただきたい。

問 官民協働除排雪は町なかでしているが、周辺地域で使いたいといった場合、可能なのか。

答 町なかでなくても可能である。県の事業で一ヶ所5万円が上限。場所があれば相談いただきたい。

議会活性化報告

各団体と議員の語る会

この秋、3団体と議員の意見交換会を実施した。特に、町の対応を確認すべき事項については、12月議会定例会での一般質問や担当課との協議を行っている。

○学校長等と語る会

(10月31日)

中央公民館を会場に町内の小中学校の校長先生、教頭先生など10名と意見交換を行い、子どもたちの様子の報告とともに施設の課題等について要望があった。

「教育に力を入れている町」と評価する一方で、特に「地域の学校としての存在感の向上」や「学力向上」の取り組み状況、更には「エアコンの早期導入による学習環境の改善」の要望や「新南金山校存続の危機意識からの取り組み事例」の紹介など、児童生徒との充実した学校生活の様子とともに切実な課題も伺えた。

議会としても、エアコンの計画的な早期導入など、諸課題の共有と実現に向けて行動していくことを確認した。



○女性と語る会(11月28日)

町連合婦人会(星川恵子会長)の主催により、恒例となった「女性と語る会」が50名を超える女性の参加のもと、会員研修を兼ねて中央公民館で開催された。

「政策提言の今」をテーマに、子育て支援、観光振興や高齢者対策について重点的に意見交換した。特に、病児保育や定住促進住宅への期待や女性の視点から見た観光振興策の提言、更には、今後の成人式のあり方など、幅広く議論が交わされた。

議会としても、所管の常任委員会等で議論しながら、更なる検証を進め、課題の解決に向け努力していくことを確認した。



○区長と語る会(12月4日)

例年開催している「区長と語る会」が、町区長・公民館長連絡協議会(松田順一会長)の主催により、31地区全ての区長の参加のもと開催された。冒頭、各議員からは「産業振興」「少子高齢化」「定住対策」「地域づくり」に関して現状や持論を報告し、地域に根差した住民自治をリードする各区長と意見を交わした。

特に、成人式のあり方や中央公民館の改築計画、更には、一歩進んだ定住対策、具体的には子どもたちが戻るような雇用対策を核とした取り組みへの期待もあった。

議会としても、政策提言の検証に引き続き取り組みながら、新しい時代につながる役割をしっかりと果たしていくよう活動していくことを確認した。



議会報告会での意見は、どうなった？

議会活性化特別委員会報告

10月18日から27日まで町内7ヶ所で開催した議会報告会については、議会だより前号（11月2日発行第111号）で掲載したが、報告会での意見等について持ち帰り、行政と確認や協議をした主な結果と参加者アンケートの集計結果は次のとおり。



7ヶ所で開催された議会報告会

8月の夏休みやお盆時期の利用率が高い。グリーンバレー神室キャンプ場にはホテル「シーエネスハイム金山」が隣接し、同時期の利用率は同様に高いもののまだ宿泊できる余裕があるため、更なる利用促進を図りたい。今後の費用等も考慮し、コテージなどの新たな宿泊施設は二ーズを慎重に見極めながら考えざるを得ない。

意見 グリーンバレー神室キャンプ場も天候等によりキャンプができずに帰ったとの話を聞く。天候に左右されないコテージのようなものが必要ではないか。

回答 管内にはコテージが3か所あり、いずれも

回答 計画段階から地域の皆さんと協議を重ねな

から整備を進めてきた。トイレ等の設備を設けることは、維持管理や公園利用者の安全確保の観点から課題が多く、また同様の設備を有するグリーンバレー神室が近場にあることから、当該公園にこうした設備を整備する計画はないので、ご理解願いたい。

意見 町なか散策等で多くの方が訪れているが、トイレの場所もわかりにくい。多様な情報をもっとわかりやすく表示して欲しい。

回答 インバウンド対応も含め、来年度からわかりやすさに配慮したサイン（案内板等を含む）の統一化について、景観審議会の専門委員会を中心に議論していく。現状、全てを表示すると複雑となることから、パンフレットやスマホ、インターネット等での情報提供と合

わせて、わかりやすい案内に努めている。今年度末をめどに、町内3か所にある案内板（トイレの位置表示含む）のリニューアルも予定している。

意見 観光地となった「大美輪の大杉」につながる通路の草刈りは、地区関係者の厚意だけでなく、町としても対応すべきではないか。

回答 これまでも大規模な行事や団体視察の前に町で対応したが、隣接する農地の所有者など、地区の皆さんのご厚意によるところが大きかった。ご厚意はありがたくお受けしながらも、ある程度の周期で計画的に町の環境整備作業として対応していく。

意見 魅力的な町を映画のロケ地として売り込んではどうか。

回答 今後の観光交流は「インバウンドの推進」

と「国内個人旅行者の誘致」の2つの方向性を考えている。いずれもSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用し、若者や女性の視点に立った「魅せる」情報発信が大事になる。町の地域おこし協力隊が制作に取り組んでいるVR（バーチャルリアリティ）の活用も含めた魅力的な情報発信に努めていく。その延長上に、ロケ地として名乗りを上げることなども現実味を帯びてくる。

意見 模擬議会を参加する社会勉強から一歩進め、一定額の議決権と執行権を与え、彼らの能力を奮い立たせることが大事ではないか。

回答 模擬議会から実際に予算化されたものもある。一定額を委ねるとなると、その使い方の問題や議会の議決を要することも考えられる。高校生に対しては、これまでも通学支援等を行っているが、新南高金山校の存続



葦などが繁茂する金山川

問題もあり、新たな支援策も考えられる。例えば、現在沖縄が修学旅行先だが、新1年生から台湾に行けるような支援も検討しており、現状ではこうしたことを優先的に考えたい。

意見 葦や柳の繁茂で川に砂利が堆積して流れが悪くなり、大した雨でなくとも護岸ブロックの上部まで水が来る。大きな災害にならないうちに対策を進めて欲しい。

回答 河川の堆積土砂撤去や支障木伐採は、山形県最上総合支庁河川砂防課に対して常に要望しているが、限られた予算で全ての対策箇所を実施することは極めて困難である。

る。撤去した土砂にも苦慮しており、ストックヤードを確保しながら、継続して強く要望する。一方、河川内の支障木を民間事業所等が伐採し、利活用できるという「公募型」による支障木伐採事業」など、民間の力をい

ただきながら河川の維持管理を進めていく方策も打ち出されているので、その拡充にも期待したい。

意見 金山まつりを盛り上げるためには、町全体が応援する機運が求められる。まつり実行委員会や山車連盟の考えもあるだろうが、8月14日と15日の2日間のまつりとすることも含めて検討し、



盛り上がりを見せた「青空音楽祭」

意見 後継者や担い手対策として、集落営農の法人化を町が支援してはどうか。

回答 現在、町には3つの

議会報告会 アンケート結果（126名が回答）

議会活動や議会だよりに高い評価 議会中継構想は現時点で「継続検討」

アンケートには、参加された138名のうち126名（91.3%）の方から回答があった。昨年同様、議会活動や議会だよりに高い評価があるが、より見やすく伝わる紙面づくりが求められていることが分かる。また、新たな項目となった「政策提言の検証」についても、110人（88%）の方から一定の評価があった。更に、各会場で説明した「議会中継の構想」についても、必要性や視聴の可能性について、半数近い方の理解と期待があったが、導入にはまだ課題も残されていることから、議会としては「継続検討」とした。今後も、情報を収集しながら「開かれた議会・存在感のある議会」の実現のため、議員一丸となって取り組むことを誓い、アンケート結果の報告とする。

基本情報	○性別					
	男（87%）					女（13%）
	○年代					
	30代（5%）	40代（9%）	50代（15%）	60代（47%）	70代～（7%）	未回答（17%）

議会報告会・活動

○参加回数							
1回目（21%）	2回目（18%）	3回目（17%）	4回目（12%）	5回目（11%）	6回目（4%）	7回目（13%）	未回答（4%）
○議会活動							
活動が見える（35%）		以前より活動が見える（51%）				変化はない（8%）	未回答（6%）
○政策提言検証の評価							
評価する（29%）		ある程度評価する（59%）				未回答（13%）	
評価しない（0%）							

議会だより

○読むか

毎回よく読む（46%）	たまに読む（47%）	ほとんど読まない（5%）
		未回答（2%）

○変化

以前より読むようになった（48%）	ほとんど変わりなし（48%）	未回答（4%）
-------------------	----------------	---------

○内容

良い（37%）	ふつう（57%）	未回答（6%）
		あまり良くない（1%）

議会中継

○必要性			
必要である（42%）	わからない（33%）	必要でない(15%)	未回答（10%）
○視 聴			
見ると思う（44%）	わからない（29%）	見ないと思う（19%）	未回答（7%）

集落営農組織があり、平成26年度に1組織、平成27年度に2組織が設立された。法人化することで、経理や雇用面、販路の拡大、経営継承、節税などメリットがある他、国は集落営農の組織化に対し

20万円、法人化に対し40万円の補助を行っている。町としても各組織の考えを把握し、農協と連携して具体的な要望への対応を図りたい。

意見 農業者については冬場の雇用対策が課題で

あり、更に対策を進めて欲しい。

回答 これまでも町産業振興条例により、立地や雇用の促進のための奨励措置を講じてきた他、平成26年末から実施の資格取得支援事業では、就職

高雄市（台湾）へ親書を携えて

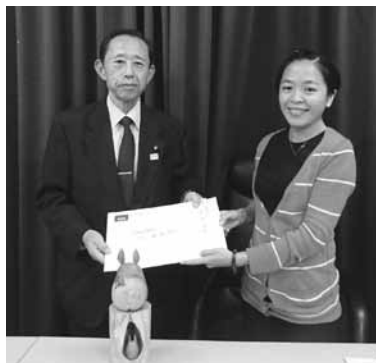
11月13日 インバウンド招致要請で初の訪問

人口は278万人

自主研修で台湾第2の都市「高雄市」を訪ねた。人口は約278万人。山形県の24倍となる大工業都市で、注目の「インバウンド招致」が目的である。

50年の日本統治から親日派が多い台湾。特に山形県との友好関係にある高雄市から、観光や修学旅行での招致につなげるべく訪問した。

吉村県知事と陳菊市長（女性）との交友に加え、県関係者並びに鈴木町長の配慮で実現



親書と共に「杉の妖精」も

「既に山形県には市内2校が修学旅行で行っている。金山から生徒が来れば、学校を紹介

市に切り替えられないか検討したい」と続けた。

今後に弾みをつけるべく、町議会議員も全員で歓迎し、大いに交流を深めている。



高雄市観光局での要請

予想以上の成果に

この1月23日には、台湾・中国・マレーシアから旅行業者17名（エージェント）がインバウンド視察訪問団として日本を訪れ、日光、那須、銀山を視察後、金山町にも立ち寄り、わが町の「シェーネスハイム」（ドイツ語で「美しいわが家」）に宿泊した。

美しい風景と街並みだけでなく、日々の暮らしも魅力になることを改めて感じつつ、次の展開への足掛かりを着実なものにすべく議員一同更なる努力を続けた。

でき、感謝している。11時に市観光局に入り、梁主任秘書他3名、教育局からも黄科長他1名の歓迎を受け、シェーネスハイム金山の有路総支配人とともに町の魅力をPRした。

し、その上で訪問できたらいい」と応じ、予想以上の成果があった。実現には課題もあり、時間を要すが、風穴を開けたことは自主研修の成果である。

だが、名だたる観光地とともにわが町に招致できたことも何か不思議な力を感じる。

次なるステップへ

10月臨時会 農業関連補助金、集排施設工事に274万円

10月20日、臨時会が開催され、新規農業関連補助金を盛り込んだ一般会計補正予算(6号)、有屋集落排水処理場の修繕費を盛り込んだ農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)及び町道羽場凝山線道路改良工事請負契約の締結について、全員賛成で可決した。

1. 補正予算

議案番号	会計名(補正番号)	補正の主な内容	補正額(万円)	補正後(万円)
56号	一般会計補正予算(第6号)	スーパートップランナー育成支援事業補助金	167	43億8977
57号	農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	有屋集落排水処理場水中攪拌ポンプ更新工事	107	5957

2. 契約案件

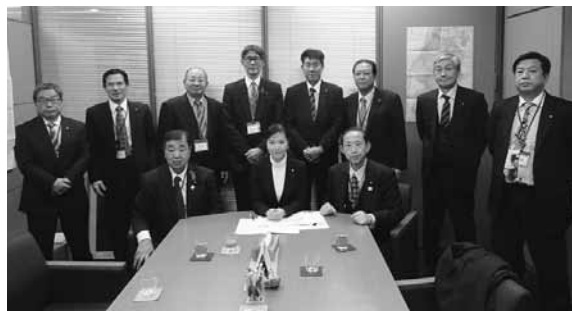
議案番号	案件名	議案の内容
58号	町道羽場凝山線道路改良工事請負契約の締結	県公安委員会との交差点協議終了に伴い同工事を発注するため、星川建設株式会社を相手方とする契約の承認を求めるもの

議員中央要望・研修

■重要5課題を要望(12月20日)

議員全員が衆・参議院会館に県内選出国會議員を訪ね、鈴木町長と連名の要望書を提出した。要望事項は次のとおり。提出後は加藤鮎子議員、舟山康江議員、大沼みずほ議員との懇談も行い、情報提供とともにアドバイスもいただいた。

- ①きめ細やかな除排雪につながる地方交付税算定における寒冷地補正の強化
- ②未事業区間である「金山町区間」の早期新規事業化と道路財特法における補助率等の高上げ措置の継続
- ③平成30年産以降の米政策の見直し(9月議会の金山農協からの請願事項)
- ④森林環境税の早期導入と国産材の利用拡大等
- ⑤公立小・中学校規模の適正化の慎重な対応



加藤鮎子議員へ要望

■大石政策顧問を訪問(12月21日)

翌21日は、都道府県会館内の(学)自治医科大学を訪ね、町政策顧問の大石利雄理事長から、わが町の地方創生の実現に向けた講話を聴き、意見を交換した。

東京圏の都市部の高齢化は一気に進んでおり、施設不足による介護難民問題は深刻化するため、地方への期待が増している中、金山に縁のある方、特に町出身者がそうした時期を前に地元に戻り、マンパワーを提供してもらえよう、早期のアプローチが必要と指摘された。

議員自らが、そうした取り組みを進め、成功事例となることを期待されていた。



大石利雄顧問を囲んで

議会の主な動き (10月～12月まで)

10月	3日(火)	議会全員協議会、議会運営委員会、10月臨時会本会議、議会活性化特別委員会	役場
	5日(木)～6日(金)	村山・最上地方議長合同研修会	最上町
	8日(日)	町産業まつり	町民グラウンド
	13日(金)	最上地方市町村議員研修会	鮭川村
	17日(火)	県町村議員研修会	山形市
	18日(水)	福島県南会津町議会・森林林業活性化議員連盟視察来町	役場
		町議会報告会①(西郷地域)	漆野公民館
	19日(木)	町議会報告会②(有屋地域)	稲沢研修センター
	20日(金)	議会全員協議会、議会運営委員会、10月臨時会本会議	役場
		町議会報告会③(東郷地域)	道草ぶんこう
	23日(月)	町議会報告会④(中田地域)	旧中田小学校
	24日(火)	県・市町村行政懇談会	山形市
		町議会報告会⑤(金山地域)	内町公民館
	26日(木)	町議会報告会⑥(山崎・上台地区)	上台公民館
	27日(金)	町議会報告会⑦(荒屋・三枝地区)	三枝公民館
	28日(土)	最上川さくら回廊事業「入有屋地区公園」植栽式	入有屋地区
		神室発電所完成記念式典	神室ダム
	31日(火)	町立学校長等と議員の語る会	中央公民館
.....			
11月	3日(金)	町公民館大会・生涯学習推進大会	中央公民館
	4日(土)	故岸 宏一氏 岸家・町・県農業会議合同葬	金山中学校
	5日(日)	最上・月山地域の砂防と活力ある未来を考える会	庄内町
		記念事業	新庄市
	15日(水)	最上の地域医療を考える集い	
	19日(日)～25日(土)	地方自治法施行70周年記念式典・フォーラム、全国町村議長行財政セミナー、最上町村議長研修他	
			都内・神奈川県
	27日(月)	政策顧問大石利雄先生による町政策講演会	役場
	28日(火)	議会運営委員会、議会活性化特別委員会	役場
		沖縄市議会会派行政視察研修来町	役場
		議員と女性の語る会	中央公民館
.....			
12月	3日(日)	「家庭の日」推進大会	中央公民館
	4日(月)	議員と町区長・公民館長連絡協議会との語る会	改善センター
	7日(木)	12月定例会本会議	役場
	8日(金)	議会全員協議会、総務文教・産業厚生常任委員会	役場
	11日(月)	議会活性化特別委員会、広報常任委員会、12月定例会本会議	役場
	12日(火)	福島県川俣町議会産業文教常任委員会視察来町	役場
	18日(月)	岐阜県議会行政視察研修来町	役場
	19日(火)	新庄南高金山校の生徒による模擬議会	役場
	20日(水)～21日(木)	町議会中央要望会・中央研修会	都内

町民の声



新庄南高等学校金山校2年

西田 侑叶 さん
(内町)

模擬議会の議員になって

私は、12月19日に行われた金山町模擬議会に議員として参加させて頂きました。この模擬議会を行うまでに様々な準備をしてきました。

まずは、自分たちでこれからの金山町には何が必要かを考えテーマを決めることから始めました。私は高齢化が進む中で絶対に避けては通れない「福祉政策」をテーマにし、班員で調べ学習を進めていきました。調べていくうちに今までは知らなかった金山町全体の高齢者や介護福祉の現状を理解することが出来ました。「福祉政策」について調べたことを元に原稿を作り学校内で模擬選挙を行いました。

実際に立候補者が自分の提案を有権者(生徒)に訴え、模擬選挙を行い、信任を得た立候補者が議員に当選するという形式で実施されました。その際に出た新たな課題や疑問について班員との討論を積み重ね、模擬議会当日に向けて町への提案・質問を考えました。本番に向けては何回も原稿を読み返し

伝わりやすい発表になるように心掛けました。そして迎えた金山町模擬議会本番は、鈴木町長を始めとする町の担当者の方々に私達の質問に対して1つ1つ丁寧に答弁して頂き、担当者の方々の本気度がひしひしと伝わって来ました。

福祉政策で2つの質問を

私は「在宅介護世帯数について、現状を把握しているか」「町として特別養護老人ホームの建設・施設で働く人のメンタルケアを考えカウンセラー等の資格ある人を委嘱することは出来ないのか」という2つの質問をしたところ、在宅介護している家庭に対し金銭面での手厚い支援をしていることが分かりました。そして、他の質問の答えとも共通していたのが人材不足ということです。人材不足を補うためにも福祉では寿命と健康寿命を近づける対策を考えていく必要があるということが分かりました。

模擬議会を通して町の大人の方々と対等に討論する機会は、普段ないことなのでとても良い経験になりました。今後、町のために何が出来るか常に考えながら日々の学校生活を送っていきたいと考えています。



議会豆知識 No.11

● 定例会と臨時会について

「**定例会**」 定期的に招集される議会をいう。地方自治法で「毎年、条例で定める回数を招集しなければならない」とされ、町長が招集する。多くの自治体が年4回とし、3月、6月、9月、12月に招集しており、金山町も同様。時期を定めると、招集する町長、参加する議員、町民としても都合が良く、3月は「予算議会」、9月は「決算議会」ともいわれる。

「**臨時会**」 特定の事件を審議する必要がある場合に臨時的に招集される議会をいい、回数に制限はない。定例会同様に招集権は町長にあるが、議長又は4分の1以上の議員から請求があった場合は、町長は臨時会を招集しなければならない。ここ5年間で最も臨時会が多かったのは、平成24年度で5回。なお、町議会議員選挙直後の初議会も「臨時会」となる。

3月議会定例会は3月6日(火)～13日(火)の予定です 町民の皆様の傍聴をお待ちしています

ギインコラム

No.5

「新年あけましておめでとう
ございます」

今年の干支は戌。江戸いろはかるたの一句に『犬も歩けば棒に当たる』という句がある。

本来は、でしゃばり過ぎると思われ災難に会うという戒めの意味だが、何でもいから動いてみれば思われ幸運に合うとの例えにも使われる。

犬といえば、わが町では初期のがんでも判定できる全国初のがん探知犬を使った事業を大学病院とともに展開している。

これも健康寿命を延ばす一つの人口減少対策である。

「町民の皆さんが本年も良い年であることを願います」

(文責 栗田 保則)

発行責任者

■ 議会議長

柴田 清正

■ 議会広報常任委員会

■ 委員長 ■ 副委員長 ■ 委員

沼澤 道也
中村 忠行
高橋 芳夫
高橋 浩樹
早坂 憲明

* * * * *